

豊山町の地域特性（風水害）

豊山町は海拔9mほどの概ね平坦地ですが、北東側に比べ南西側がわずかに低くなっています。風水害においては東海豪雨以降、幸いにも災害で大きく被災することはありませんでした。しかし近年全国では線状降水帯（P3へ）や猛烈な台風（最大風速54m/s以上）で予想以上の大雨や風の被害が毎年のように発生しています。「いつ災害が起きてもおかしくない」と意識することが必要です。

過去の町内での災害

【伊勢湾台風 昭和34年9月】 ●最低気圧895hPa、最大風速75m/s



昭和34年9月26日に伊勢湾岸地帯を襲った台風は、町内で負傷者32名、全壊戸数22戸、半壊戸数42戸、床下浸水約400戸の被害をもたらしました。この台風による被害の復旧は翌年8月ごろまでかかりました。

【東海豪雨 平成12年9月】 ●時間最大雨量97.0mm、日雨量428.0mm （名古屋市地方気象台観測）



北部市場付近



新川（西枇杷島付近）

平成12年9月11日から12日未明にかけて東海地方を襲った豪雨は、町内で床上浸水105世帯、床下浸水78世帯、事業所浸水105事業所の被害をもたらしました。この豪雨により負傷者は出なかったものの、北部市場周辺や志水地区の大部分が冠水しました。



過去の災害で被害を受けられた方の多くは「まさか自分が…」とおっしゃいます。油断は禁物です。